

しま まな や 「島の学び舎」だより

第4号 (令和元年8月)

発行者：下松市教育委員会

編集：下松市郷土資料展示収蔵施設

「島の学び舎」

電話番号 (0833)52-0860

クローズアップ

「西部日本第一景勝之 工都下松市俯瞰図」

鳥瞰図絵師、吉田初三郎が昭和20年代初頭の下松を描いた作品です。沿岸部の塩田跡地へ企業が進出し、工業都市化した様子から、名勝・旧跡に至るまで細かく表現されています。土井



役所旧庁舎、建設中であった大手町市役所新庁舎、下松高等学校、下松から絶対見えないはずのあの名山も描かれています。なお、「昭和24年下松市勢要覧」、「下松の観光と商業」に折込図が付されていますが、それとは明らかに色調等が異なります。

市制施行80周年企画展のご案内



高度経済成長により、現在の市勢発展の基礎となった昭和30年代を、嘉戸義秋氏撮影の写真を中心に振りかえります。前期では、駅南商店街、七夕、国体大会旗リレー、企業の運動会等を、後期では、さばら、稲穂祭り、ごでんどう、白雲の滝等を紹介いたします。

前期 (駅南、市東部編) 7月15日〜9月29日
後期 (末武、花岡、米川編) 10月1日〜11月30日

新展示「糸車」



糸車は糸をよいた器具です。おりすおまは「孝女」の絵描きです。まは「孝女」の絵描きです。まは「孝女」の絵描きです。

民俗資料展示室にエアコン整備

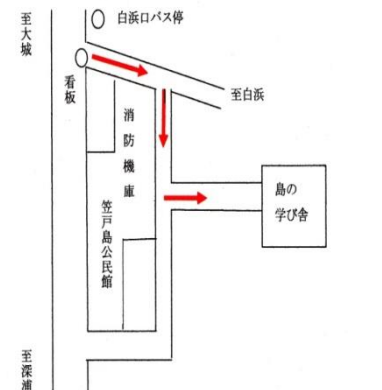


「懐かしい」、「おもしろい」と老若男女を問わず大人気の民具を展示する民俗資料展示室に、永岡鋼業株式会社様の御寄付により、エアコンが整備されました。

小学3年生3学期の「昔のくらしと道具」の予習に、見学されてみませんか。



編集後記
昨秋、当館を見学に訪れてくれた豊井小学校の子供たちが、宮ノ洲古墳の鏡発見のエピソードを紙芝居にしてくださいました。ぜひ、ご覧ください。



開館日時 火・木・土・日・祝

10時～16時